

⑩ 健康起因事故対策に各マニュアルの活用を

運送業界の健康支援を生きがいに



昨今の交通事故の原因の中には、高速道路での逆走やブレーキとアクセルの踏み違いなど「ドライバーの高齢化」によるものも少なくありません。若者のスピード違反や無謀運転が多発していた頃とは交通事故の原因も大きく変化してきていま

す。高齢化の傾向は、トラックドライバーといえども例外ではなく、大型トラックのドライバーが60歳代というケースはもう決して珍しくありません。私は全ト協の「トラック事業者のための健康起因事故防止マニュアル」の作成受託の折に、大阪府内のトラックステーションを見学しましたが、「食事や宿泊で利用されるのは中高年のドライバーさんが多く、薬袋のゴミが多い」というお話を聞きまし

た。病気をコントロールしながら運転する高齢ドライバーさんの到来を身近に感じたものでした。さて、トラック・バス・タクシーを合わせた健康起因事故の発生件数は11年前の約3倍となり、ドライバーの健康対策は喫緊の課題となっています。

国交省では、「事業用自動車運転者の健康管理マニュアル」改訂版を4月に出して、事業者の健康管理の周知徹底を図っています。私も9月3日には中部運輸局主催の「自動車事故防止セミナー2014」において、講演とパネルディスカッションのコーディネーターを務めさせていただきました。マニュアルの更なる周知に向けてお手伝いをさせていただく予定です。



全ト協では国交省の趣旨のもと、協独自の(OCHIS企画協力)マニュアルを、「具体的に解説されたマニュアル」として5月からHP上に掲載しています。しかし印刷を希望する事業者が多いことを受け、各都道府県ト協を対象に印刷希望の取りまとめが行われることになりました。すでに大ト協では、8月の広報物とともに印刷されたマニュアルが各事業者に送られるという大変早い対応もされていますので、定期的にHPチェックができないという事業者さまにとっては、朗報といえるのではないのでしょうか。

本マニュアルは、「業界自線」と「中小事業者さま」を意識して作成に当たりました。1件でも多くの健康起因事故減少にお役に立つことを願っています。

(今回は9月8日に掲載)

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL : 06-6965-3666
FAX : 06-6965-5261
東京オフィス TEL : 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP <http://sas.ochis-net.jp/>